

第65回 くにたち市民文化祭 おかえり駅舎!! 高めよう文化!!

10月24日(土)~11月29日(日)

今年も市民文化祭の季節がやってきました。市民の日頃の文化活動の成果がみえる多彩な催しが企画されています。新型コロナウイルス感染対策のため、オープニング式典の一般観覧はございません。団体数は少ないですが、各団体の催しは例年同様開催いたしますので、ぜひお越しください。

◆ オープニング式典 ◆

とき 10月24日(土) 朝10時半~
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
内容 市民文化祭参加グループの活動紹介
(協力:公民館利用者連絡会)

※観覧はご遠慮ください



「昨年の式典の様子」

◆ グループ紹介展示 ◆

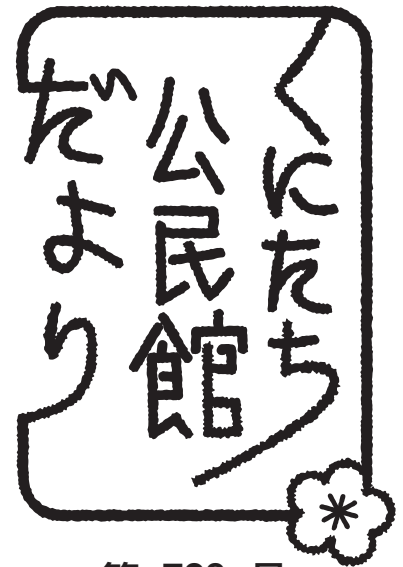
文化祭に参加するグループの催しや、参加する予定であったグループの日頃の活動などを、パネル展示で紹介します。

文化祭をきっかけに、活動の輪、仲間作りの輪を広げてみませんか?

期間 10月20日(火)~10月24日(土)
ところ 公民館 1階市民交流ロビー



「昨年のグループ紹介展示の様子」



第 728 号

2020年10月5日

(令和2年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日: 毎週月曜日

10月27日(火)~11月1日(日)

総合美術展

グループ・サークルに関係なく市民自由参加による作品を一堂に展示いたしますのでご自由にご覧ください。

とき 10月27日(火)~11月1日(日)
朝10時~夕5時(最終日は夕4時)

ところ 公民館 1階ロビー: 写真
地下ホール: 絵画

3階講座室/集会室: 手工芸・書

出品受付 10月3日(土)~4日(日)

朝10時~夕5時

公民館 3階小集会室

作品搬入 10月24日(土) 昼3時~夜7時

10月25日(日) 昼1時~夕4時

公民館 地下音楽室

文化祭実行委員会による共同企画



今月の公民館 (10月、11月初)

- 8日(木) 夜 くにたちブッククラブ
柴崎 友香『わたしがいなかった街で』
- 17日(土) 朝 NHK学園高等学校共催
“子ども・若者地域参加サポーター入門”第3回
- 22日(木) 夜 くにたちブッククラブ
西 加奈子『i』
- 24日(土) 昼~ 地域資料講座
記録を残し、記憶を伝える
- 25日(日) 昼~ 院生講座
- 31日(土) 昼 親子で遊ぼう・考えよう
プラネタリウムで星を見よう
- 11月6日(金) 夜 図書室のつどい
「さよなら、俺たち~ダサくて、イタイ
“男らしさ”の先にある、私~」
- 15日(日) 朝 図書室のつどい
「南極ではたらく~かあちゃん、調理隊員になる~」
- 15日(日) 昼 親子で遊ぼう・考えよう
親子で紙版画を楽しもう!

11月8日(日)~11月29日(日)

~いっしょに考えよう~
シンポジウム コロナ禍と学習権

報告 ①喫茶「わいがや」とコロナ閉館②公民館閉館と私たちの活動③オンラインからこぼれ落ちるもの④コロナ禍に「ユネスコ学習権宣言」を読む。

報告・助言・話し合いで進めます。

とき 11月8日(日) 昼1時半~4時
ところ 公民館 地下ホール
企画 くにとち公民館をまもる会



芸能フェスティバル 第30回

30回の節目に残念ながら、日本舞踊、市民のつどいは不参加となりました。

つむぎ会、舞鼓刀太鼓は、今だから伝えたい新感覚の日舞、和太鼓、殺陣の和アート舞台を演じます。お楽しみに!

とき 11月8日(日) 昼2時~4時
ところ くにとち市民芸術小ホール
文化祭実行委員会による共同企画



フルートアンサンブル「桜音の会」コンサート

2ペンスを鳩に、今日の料理、風のとおり道、水上の音楽など8曲を演奏いたします。この一年間、コロナにも負けず練習を重ねてきました。その成果を是非ともお聴きください。

とき 11月15日(日) 夕4時~5時
ところ 公民館 地下ホール
企画 桜音の会



第46回 くにとち絵画グループ展

油絵・水彩・パステル・アクリル色えんぴつなどを自由に個性を大切に描いています。

とき 11月17日(火)~22日(日)
朝10時~夕5時(初日は昼1時~)
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
企画 くにとち絵画グループ



かのご着物がたり—kanokoの軌跡—

コロナ禍においても日々の生活を取り戻そうと練習に励んでいます。今年はメンバーがお互いの着物を着せる他装を披露。男袴、女袴を着せつける際の注意点も参考にどうぞ。

とき 11月21日(土) 昼2時~3時半
ところ 公民館 地下ホール
企画 着付けサークルかのご



ガムラン公開練習&ワークショップ

ガムランは青銅の打楽器を主としたインドネシア・バリ民族音楽。私たちの練習の様子を自由にご見学いただけます。また、ワークショップでは実際に演奏を体験できます。

(各回25名まで)

とき 11月22日(日)
パニャンブラマ: 朝11時半~
ワークショップ: 昼1時半~
バリス踊り合わせ: 昼2時15分~

ところ 公民館 地下ホール
企画 パサールスニ・くにたち



昨年の文化祭の様子。市民の文化活動の成果をご覧になれます。新しい出会いやきっかけの場にもなります。



ピースリーディング結
「共に創ろう 平和な未来」

コロナ禍であっても、大切なものは変わりません。今年も映像と朗読で「平和」について皆さんと共有したいと思います...

とき 11月29日(日) 昼2時~4時
ところ 公民館 地下ホール
企画 ピースリーディング結



〈院生講座〉

「親日」って何だろう？

台湾映画『海角七号』(2008)に見る対日意識

講師 原口 直希 (一橋大学大学院生*)

近年、台湾人の「親日」が様々なところで言われています。そもそも「親日」とはどういうことでしょうか？

2008年公開の魏徳聖監督の映画『海角七号』は、台湾映画史上最大のヒット作であると同時に「親日」映画と言われ、その日本表象が多くの議論を巻き起こしてきました。他方、魏監督は様々な場所で、日本と台湾が対等であることへの思いを口にしています。それではその思いは『海角七号』にどう映し出されているのでしょうか？そしてそれは私たちの思う「親日」と合致するものでしょうか？

この講座では台湾の歴史や文化、社会調査の結果なども参照しつつ、魏監督の日台の対等性への思いが映画にどのように反映されているのかを読み解いていきます。台湾映画、そして台湾人や台湾という存在について一緒に考えてみましょう。※映画上映会ではありません※

とき 10月25日(日)、11月7日(土) (全2回)
昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 25名(申込先着順)

申込先 10月9日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141



*一橋大学大学院生による講座

国立市内の一橋大学では、研究者を目指す大学院生が日夜研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を企画しました。最新の研究動向に触れるもよし！ 修行中の院生にアドバイスするもよし！ 院生が講師となって専門分野をご紹介します。

子どもの育ち・若者の自立を支える 「地域参加サポーター入門」連続講座 第3回 ワークショップ 居場所づくりへの関わり方を探る

講師 阿比留 久美 (早稲田大学)

with コロナ社会における子ども・若者の居場所づくりにおいて、「私たちには何ができるのか」を探る連続講座の最終回です。第1回は全国の先進事例や子ども・若者がいま置かれている状況を学び、第2回では市内の事例から居場所づくりの価値や意義、子ども・若者との関わり方について知り、考えを深めました。

今回は、私たちに“何ができるのか”“何をしたいのか”参加者同士で意見交換を行います。学び合いを通して考えを明確にするだけでなく、参加者同士のつながりを作るなど、講座終了後へのアクションにつなげていきます。お気軽にご参加ください。(連続講座ですが、初めての参加も可能です。)

会場での対面形式での参加と、WEB会議システムを活用したオンラインでの参加を併用します。

〈図書室のつどい〉

『さよなら、俺たち』 ダサくて、イタイ“男らしさ”の先にある、私

お話 清田 隆之 (文筆業)

男性が「男性である」というだけで、“謝らない”“なにかとすぐ不機嫌になる”“やらなくて済む”といったような特権があるのではないのでしょうか。「男らしくあれ」と言われて苦しむ男性や、辟易している女性がいるなかで、そんな「男らしさ」への向き合い方について考えていきます。

著書で、自らの失恋体験、恋バナ収集の現場で見聞きしたエピソードや、ニュース、カルチャーなどを通じて「自分と男性性」の問題について取り上げた清田さん。今回は、清田さんに男性というジェンダーについて見つめ直し、「俺たち」から「私」という個人への脱皮を目指すプロセスや、そこで感じたことをお話いただきます。

講座は、会場での対面形式での参加と、WEB会議システムを活用したオンラインでの参加を併用します。

〈清田さんの本〉 表題作 (スタンドブックス)

とき 11月6日(金)夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室

定員 会場受講：15名、オンライン受講：30名
*いずれも、申込先着順

申込先 10月9日(金)朝9時～11月4日(水)夕5時
会場受講：公民館 ☎ (572) 5141

オンライン受講：下記参照※ (参加方法の詳細は11月5日(木)までにメールいたします。)



※オンライン受講の申込先

✉ sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

当日の参加者側の環境での接続や音声の不備についてのお問い合わせには対応できませんのでご了承ください。



共催 NHK学園高等学校

とき 10月17日(土)朝10時～12時

ところ 公民館 地下ホール

定員 会場受講：30名、オンライン受講：30名
*いずれも、申込先着順。

申込先 10月6日(火)朝9時～15日(木)夕5時
会場受講：公民館 ☎ (572) 5141

オンライン受講：上記参照※ (参加方法の詳細は10月16日(金)までにメールいたします。)



オンラインを併用した会場の様子



ディスカッションの様子



〈親子で遊ぼう・考えよう〉
**プラネタリウムで
星を見よう!**

桐朋中学・高等学校のプラネタリウムを使って、四季折々の星座のお話をさせていただきます。天気が良ければ大きな天体望遠鏡や、太陽観測の望遠鏡を見学させていただきます。



お 話 上原 隼

(桐朋中学・高等学校教諭)
桐朋中学・高等学校地学部員

と き 10月31日(土) 昼1時半～3時ごろ
と ころ 桐朋中学・高等学校 教科教室棟(4階)

*入口は北門(桐朋学園通り)です。

用 意 上履き、靴袋をお持ちください。(土足厳禁です)

対 象 子ども(3歳以上)と保護者

(市内在住者のみ)
※1組につき2名(子どもと保護者1名ずつ)の参加になります。

定 員 22名(申込先着順)

申込先 10月8日(木)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈くにたちブッククラブ〉
空間を超えて世界と向きあう文学
～11月以降の日程のお知らせ～

新型コロナ感染防止のため、延期となっていた作品を含め、11月以降の日程のご案内です。

読書の秋、一緒に小説の世界に浸ってみませんか。

月 日	作 品	講 師
11/12(木)※	宇野千代『色ざんげ』 (岩波文庫)	金井 景子 (早稲田大学・ 日本近代文学)
11/27(金)※	沼田真佑『影裏』 (文春文庫)	佐藤 泉 (青山学院大学・ 日本近代文学)
12/10(木)	石川達三 『生きていく兵隊』 (中公文庫)	山岸 郁子 (日本大学・ 日本近代文学)
1 / 7(木)	小野正嗣 『九年前の祈り』 (講談社文庫)	大野 亮司 (亜細亜大学・ 日本近代文学)

※印は、当初から変更した日程です。

11月27日のみ金曜日の開催です。

と き 夜7時半～9時半
と ころ 公民館 地下ホール
定 員 30名

申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

今年度すでに申込まれた方は、改めての申込みは不要です。



再掲

〈図書室のつどい〉

南極ではたらく

かあちゃん、調理隊員になる

お 話 渡貫 淳子

(第57次南極地域観測隊調理隊員)

厳しい自然環境、食料や水、行動にも制限のある南極では、何事もおろそかにはできない緊張感がありながら、様々な発見や感動に巡り合うことができます。

著書では、母として家事、育児に奮闘する日々を送っていた渡貫さんが、南極観測隊の調理隊員にチャレンジし、1年4カ月を過ごした南極での挑戦を描いています。

自ら望んでやってきた南極で、それぞれの役割を全うする隊員達の様子は、とても生き生きとしていて魅力的です。

今回は、南極観測隊員となるまでや南極での日々など南極を通して感じたこととお話いただきます。

〈渡貫さんの本〉

表題作(平凡社)



と き 11月15日(日)朝10時～12時

と ころ 公民館 地下ホール

定 員 40名(申込先着順)

申込先 10月20日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



〈くにたちブッククラブ 空間を超えて世界と向きあう文学〉

柴崎友香『わたしがいなかった街で』

(新潮文庫)

講 師 小平 麻衣子(慶應義塾大学・日本近代文学)

と き 10月8日(木)夜7時半～9時半

再掲

西加奈子「i」

(ポプラ文庫)

講 師 紅野 謙介(日本大学・日本近代文学)

と き 10月22日(木)夜7時半～9時半

上記2作品ともに…



と ころ 公民館 地下ホール

定 員 30名

申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

(今年度すでに申込済の方は申込不要です。)

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

再掲

は、新型コロナ感染防止のため中止としていた講座です。

〈地域資料講座〉

記録を残し、記憶を伝える

—市民の活動の足跡を未来へつなぐ—



ミニコミ誌や地域の様々な通信。これらの媒体は、市民の活動の「今」を「未来」に伝える役割も果たします。市民自身がどう考え・どう動いたか……個々人の思い・作り手の気持ち、様々な足跡を風化させないために、私たちは何ができるでしょう。

第1回は多様な市民の社会活動に関する資料を収集・公開する「立教大学共生社会研究センター」の高木恒一センター長にお話を伺います。第2回は、多摩地域の市民活動資料を収集する「市民アーカイブ多摩」を実際に見学します。記録を残し、記憶を伝える意味を、市民目線で考えてみませんか。

第1回 市民活動資料を未来へつなぐ

講師 高木 恒一 (立教大学共生社会研究センター)

とき 10月24日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

第2回 ようこそ!「市民アーカイブ多摩」へ《現地見学》

講師 江頭 晃子 (ネットワーク・市民アーカイブ)

とき 11月14日(土) 朝10時～12時

ところ 市民アーカイブ多摩

集合 多摩都市モノレール「玉川上水」駅に集合。
徒歩8分で「市民アーカイブ多摩」着。現地解散。

定員 15名(申込先着順・原則2回続けて参加できる方)

申込先 10月6日(火) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈親子で遊ぼう・考えよう〉

親子で紙版画を楽しもう!

彫刻刀を使わずに制作できる紙版画を親子で楽しみましょう。色を重ねてカラフルな版画を作ります。偶然に生まれるカラフルな表現を楽しみましょう。

講師 山田 修平

(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 11月15日(日) 朝10時～12時

ところ 南市民プラザ 多目的ホール

持ち物 ハンドタオル、飲み物

対象・定員 子ども(5歳以上)と保護者

10組(申込先着順)

※1組につき2名(子どもと保護者1名ずつ)の参加になります。

※参加をしない方の見学はできません。

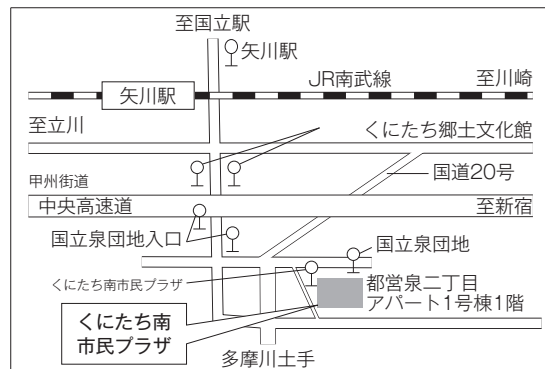
申込先 10月20日(火) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141



*この講座は、さまざまな遊びをとおして子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流を通して、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。

■南市民プラザへのアクセス



*JR南武線矢川駅より徒歩15分
*立川バス「国立泉団地」バス停下車1分

公民館運営審議会報告

9月8日(火) 第32期第23回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名出席。傍聴人6名。

前回事業報告

○公民館だより編集研究委員会
コロナ禍における公民館だよりの役割を再確認。ホームページ等の媒体の活用は積極的に考えていきたい。

社会教育委員の会

『職員専門性の確保』について議論。生涯学習振興・推進計画の進捗状況について報告あり。

東京都公民館連絡協議会

都公連研究大会・研修会の実施予定、各市の新型コロナ対応について情報共有。

講座に参加される皆様へ

現在、公民館では、新型コロナウイルス感染対策として、すべての講座において人数の規模を縮小し、事前申込み制で実施しています。講座にご参加の際は、皆様が安心して学習ができますよう以下の点にご協力ください。

- ・自宅で検温してからお越しください。
- ・発熱や体調の悪い方は、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを着用してください。

今後の動向により、開催の延期や中止など変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせいたします。ご不明の点はお問い合わせください。

公民館 ☎ (572) 5141

公民館の情報▲



ひろば



和弓をひいてみませんか!

和弓は姿勢を良くし、集中力を養い誰にでも出来るスポーツです。初めての方も最初は会の用具を使えます。会費は一回500円詳細は夜7時以降電話を。くにたち弓友会
日時 週一回(日)又は(土)午前中
場所 昭島市弓道場(東中神駅)
連絡先 長谷川(576) 1489


フットサルチーム「ソラーナ」

市内で活動中の男女エンジョイサークルです。20〜50代まで幅広い年代で毎週汗を流しています。C級指導員によるサポートあり。まずは体験からでも御連絡下さい。
日時 毎週日曜日 昼3時〜6時
場所 市内小学校 体育館
連絡先 磯080(325) 6711

還暦軟式野球の部員募集

市内唯一の還暦野球チーム。健康の維持・増進を図り、楽しくプレーしたい野球好きを募集中。活動日は火水土曜。まず、練習にご参加を。国立フレンド・シニア
日時 毎週火曜日 午前中(練習場)
場所 谷保第三公園野球場
連絡先 石垣(573) 0817

—12月(ロビー1月分) 会場調整会のお知らせ—

申込書のポスト投入期間	10月3日(土)~29日(木)
公用使用の貼り出し	10月10日(土)頃
予約の重なりがあった団体の掲示開始日	10月31日(土)~ ▶重なり状況 
会場調整会	11月7日(土)朝10時~

- ・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)
- ・会場調整会へは、1団体1名の方が、手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、第1希望が取れなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方がご参加ください。

公民館 ☎ (572) 5141

学校・ひとり一台パソコン? GIGAスクール問題を考える

コロナを理由に国立市は5億かけGIGAスクール構想を導入。児美川孝二郎法政大教授と考える。参加費500円。GIGAスクール問題を考える実行委
日時 10月18日(日) 昼1時半(要予約)
場所 商協ビル2F さくらホール
連絡先 龍野 090(1469) 1094

「ひろば」写真募集中

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。



凧と咲くむくげ

撮影 和賀 一さん

(フォトサークルくにたち)

〈サークル訪問348〉 フォトサークルくにたち

コロナ禍の四ヶ月休止を経て、七月の定例会から活動再開。その間も、「フォトたより」と「フォト通信(ハガキ版)」による会員同士の交流、そして写真のやり取りは欠かさなかったという。

この会は、二〇一八年三月の国立市社協「初心者のためのデジカメ教室」受講をきっかけに、同教室の和賀一講師をアドバイザーに迎え、同年十一月に発足。現在の会員は十一人だが、毎月の勉強会や公民館だより「ひろば」欄への投稿、また各種写真展への出展、コンクールへの応募など、精力的に活動を行っている。訪問したのは八月半ばのお盆の時期。二時間で、会員と和賀さんによる勉強会と作品鑑賞会が行われていた。

勉強会は、写真撮影の解説資料を元に、様々な写真を比較して行われる。露出補正、トリミングといった、写真撮影の技術に関する丁寧な解説が行われる。

「山の上の部分をもっと広げた方がいいと思うけど、どうですか」。会員からは熱心に質疑・意見が出される。各々の感性の違いが表れる場面でもあり、自由に意見が交わされている。アドバイザー曰く、「各々の感じ方を大事に」と

のことだ。

作品鑑賞会では、それぞれ会員が撮影した写真をホワイトボードに貼り付け、講評を行う。被写体は神社、鯉、トンボの止まった野口英世像、駅前の「旧国立駅舎」(など)様々で、会員の個性が光る。夜景の写真が注目され、「シャッタースピードは?絞りは?」など撮影技術の話題で盛り上がることも。

カメラを扱うこと、写真を撮ること、他の人が撮った写真を鑑賞すること。様々なことを楽しむ人々が集まる、まさに技術と感性、同好の会だと感じられた。会員の視点を通じて様々な地域の風景を垣間見られたことも新鮮だった。会員募集中、初心者歓迎。

日時 第二木曜日 朝10〜12時
場所 くにたち福祉会館他
連絡先 甫守090(742) 7905

(文・写真 末光 翔)



少年少女に戻る瞬間